

～育てよう！ 強く明るい えひめの子～

青少年育成だより



令和4年度「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」(令和4年9月3日)

毎月第3日曜日は「家庭の日」です。

愛媛県青少年育成協議会・愛媛県

〒790-8570 松山市一番町4丁目4-2(県民生活課内)

TEL 089(912)2336

青少年の非行・被害防止県民大会の開催

愛媛県では青少年の非行・被害を防止し、健全育成を図るため、毎年7月を「青少年の非行・被害防止強調月間」と定め、県民総ぐるみの活動を推進しています。

同強化月間の取組として、県、県教育委員会、県警察本部との共催により、「青少年の非行・被害防止県民大会」(7月27日)を愛媛県生涯学習センター(松山市上野町)で開催しました。

大会では、様々な社会貢献活動等で功績のあった団体、個人に対する「優良青少年団体及び青少年知事表彰」の授賞式や、当協議会野間会長による「大会宣言」などの式典、愛媛県警察本部 人身安全対策・少年課の猪野桂子氏、若宮健嗣氏を講師にお招きして、「子どもたちを加害者にも被害者にもさせないために～インターネット利用に関する課題～」と題した講演を行いました。

【大会の様子】



【主催者あいさつ】

愛媛県知事
(代読)愛媛県県民環境部
県民生活局
局長 中川 美奈子

【大会宣言】

愛媛県青少年育成協議会
会長 野間 逸元



【優良青少年団体知事表彰】

- ①愛媛県立内子高等学校小田分校家庭クラブ
- ②防災リーダークラブ
- ③愛媛県立新居浜西高等学校インターアクトクラブ
- ④鬼北町立泉小学校児童会
- ⑤愛媛県立小松高等学校 S クラブ



【優良青少年知事表彰】

- 渡部 航也(日本ボーイスカウト愛媛県連盟新居浜第2団)
- 福嶋 亮太(日本ボーイスカウト愛媛県連盟松前第1団) (式典欠席)



【講演】

演題:子どもたちを加害者にも被害者にもさせないために
～インターネット利用に関する課題～



猪野 佳子 氏(愛媛県警察本部 人身安全対策・少年課 課長補佐)



若宮 健嗣(6代目フィルタリングマン)
(愛媛県警察本部 人身安全対策・少年課 少年対策係)



たくさんの方に参加いただきました！

【優良青少年団体及び青少年知事表彰受賞者】

●団体の部

団体名(所在地)	代表者	功績の概要
愛媛県立 内子高等学校小田分校 家庭クラブ (内子町)	松森 羽菜	毎年、校内外での清掃活動や花を育てる活動「花いっぱい運動」や、ドライバーに交通安全を呼び掛ける「交通茶屋」、地元の祭りへの協力などの社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。 コロナ禍により活動が制限される中でも、地元幼稚園児への手作りマスクのプレゼントやドライバーへのシトラスリボンを利用した手作りの「おだまる交通安全お守り」を配布するなど、工夫を凝らし活動を行っている。
防災リーダークラブ (松山市)	天野 里咲	防災資格を取得した大学生防災士が、その知識と技術を生かし、「防災」を通じて地域社会と関わることで、防災の輪を広げる活動を実施している。 被災地ボランティアに積極的に参加する「若い力と防災力を活かしたボランティア活動」や防災イベントの開催、地域の環境を点検し、地域住民と危険な箇所の修繕を行うなど安全なまちづくりを推進する『『防災』の視点で行う地域の環境保全活動』などの社会貢献活動に積極的に取り組んでいる。
愛媛県立 新居浜西高等学校 インターアクトクラブ (新居浜市)	木村 愛理	生徒が主体となって、活動を企画・実施し、地域住民との交流を図りながら、多方面に亘るボランティア活動に取り組んでいる。 募金活動や地域の美化活動、学校や公民館等で利用できるSDGsかるたの作成、外国人との交流を通じた国際理解の向上など、幅広く社会と関わり、積極的に楽しみながら社会参加活動を行っている。
鬼北町立泉小学校 児童会 (鬼北町)	増田 菜歩	地域の伝統文化である「鬼北文楽」を学び、高齢者福祉施設への慰問活動を行ったり、地域の文化祭「遺跡まつり」で披露したりして、地域の伝統文化の保存・継承と活性化に貢献している。 毎月1日を「環境の日」と定め、県指定史跡「岩谷遺跡」付近のバス停留所、旧国道 320 号などの美化活動を行っている。また、PTA や地域住民にも呼びかけてアルミ缶を回収し、収益金で、校区内のバス停に掛け時計を設置、利用者の利便性の向上に役立っている。
愛媛県立小松高等学校 Sクラブ (西条市)	堀池 萌衣	四国八十八ヶ所の札所である香園寺で地元住民と一緒にお遍路さんにお茶をふるまうなど、おもてなしの心を醸成し、住民との交流による地域連携づくりに寄与している。 市内の福祉施設では、箏によるボランティア演奏行っており、地域福祉の向上に貢献している。

【優良青少年団体及び青少年知事表彰受賞者】

●個人の部

氏名	功績の概要
<p>渡部 航也 (新居浜市)</p>	<p>小学校1年生の時ボーイスカウト新居浜第2団に入団し現在に至る。 学業(生徒会役員)・部活動との両立に努め、ボーイスカウト活動にも熱心に取り組んでおり、平成31年には菊スカウト章を受章、令和元年に世界スカウトジャンボリーに参加するなど、野外活動やボランティア活動に取り組む姿勢は、後輩スカウトの良い手本となっている。 平成28年から5年間、イオンモール新居浜店と共同で実施した防災啓発活動「防災キャラバン」においては、主要メンバーとして地域社会の防災知識・意識啓蒙の一役を担った。 令和2年にボーイスカウト日本連盟主催の全国スカウトフォーラムに愛媛県代表として参加し、令和3年にはボーイスカウト愛媛県連盟ベンチャー会議議長を1年間務めるなど、県下のベンチャースカウトの交流を図るとともに、地域社会貢献活動に大きく貢献している。</p>
<p>福嶋 亮太 (松前町)</p>	<p>小学校4年生から団体に所属し、18歳までスカウトとして清掃活動や街頭募金活動などに継続して参加し、社会貢献活動に寄与してきた。 高校時(平成24年)にボーイスカウト技能章の最高位である富士スカウトを取得。 18歳の時に指導者講習を受講、その後、ボーイスカウト及びベンチャースカウトの指導者課程を修了し、平成31年度から松前第1団のボーイ隊長(小学校6年生～中学校3年生までで組織された隊)に就任。隊長就任後も社会貢献活動に参加しながら、隊員の指導にも尽力し、隊をけん引する模範的なリーダーとして活躍している。 ボーイスカウト活動の一環で松前第1団が受け入れたホームステイの海外隊員との交流や自身の1月程度のホームステイなどを通して、異なる文化や価値観に対して理解・共感することに努めるとともに、その大切さを後輩隊員に伝えている。 ボーイスカウト活動を通して長年にわたり、ボランティア活動・環境美化・自然環境保護・国際理解などの活動を実施しており、現在は後進の指導・育成にも力を入れている。</p>



大会宣言

次代を担う青少年の育成は、社会全体で一体的に取り組むべき課題であり、県、市町、関係団体等が、それぞれの役割及び責任を果たしつつ、相互に協力しながら、地域が一体となった青少年の非行・被害防止のための取組を進めることが必要である。

このため、「青少年の非行・被害防止県民大会」を開催するにあたり、県民総ぐるみによる青少年の非行・被害防止及び健全育成運動を一層強力に推進していくため、次のことを宣言する。

- 一、 SNSの利用に起因する青少年の犯罪被害を防止するため、フィルタリングの更なる利用促進を図るほか、コンテンツや利用時間を管理するペアレンタルコントロール機能の積極的な活用等について啓発する。
- 一、 青少年が、「JKビジネス」等に係る被害を受けることがないように、被害事例や相談窓口、被害に遭わないための対処法等について広報啓発を行う。
- 一、 有害図書類等の販売、貸付等について、「愛媛県青少年保護条例」に基づく対策の徹底を図るとともに、20歳未満の者に対する酒類・たばこの販売等の防止に向けた取組を推進する。
- 一、 大麻、覚醒剤、危険ドラッグ等の危険性や有害性に関する正しい知識の普及を積極的に推進するなど、薬物乱用の防止に関する指導の充実を図るとともに、治療・社会復帰の支援等に努めるなど、再乱用防止対策の充実強化を図る。
- 一、 オレオレ詐欺を始めとする特殊詐欺に誘い込む手口等についての情報発信などを行うなど、青少年を特殊詐欺に加担させないための取組を推進する。
- 一、 再非行の防止の重要性について県民の理解を深め、地域における相談機関相互の連携を強化し、青少年や保護者・家庭からの相談に対し、よりの確に対応する。
- 一、 重大ないじめ・暴力行為等の問題行動の被害に遭っている青少年が、一人で悩み苦しむことのないよう、早期把握や解明に努め、問題行動を起こした少年に対する適切な処遇、指導監督の推進及び再発の防止を図る。

令和4年7月27日

青少年の非行・被害防止県民大会

愛媛の未来をひらく少年の主張大会

9月3日(土)、愛媛県生涯学習センター 県民小劇場ホール(松山市)にて、令和4年度「愛媛の未来をひらく少年の主張大会」(共催:県、県教育委員会、独立行政法人国立青少年教育振興機構)を開催しました。44回目を迎えた今年度も県内各地から1,226名もの中学生の皆さんに応募をいただき、その中から予備審査により選ばれた10名が家族や社会の中で興味を持ったことなどについて発表しました。

いずれも聴衆の心に響くすばらしい発表でした。今大会の最優秀賞は愛南町立一本松中学校3年の保岡優奈さん、優秀賞は新居浜市立別子中学校2年の鈴木菜々子さん、新居浜市立北中学校3年の高橋美優さんの2名が受賞されました。最優秀賞の保岡さんは、11月にWEB開催される「少年の主張全国大会～わたしの主張2022～」に愛媛県代表として推薦しました。

◎審査結果

最優秀賞	「それはすてきなことだ」	愛南町立一本松中学校	3年 保岡 優奈
	気づきはわずかな異変から	新居浜市立別子中学校	2年 鈴木 菜々子
優秀賞 (五十音順)	命から考える「普通」	新居浜市立北中学校	3年 高橋 美優
	篠南キャラクタープロジェクトから	篠山小中学校組合立篠山中学校	3年 岡原 未空
優良賞 (五十音順)	二つの顔を持つスマートフォン	松山市立津田中学校	3年 奥浦 美羽
	自分を愛する	新居浜市立川東中学校	3年 後藤 侑衣
	三十一センチの真実	新居浜市立川東中学校	3年 眞木 優歌
	優しさ	新居浜市立北中学校	3年 増田 百恵
	夢を叶えたい	愛南町立御荘中学校	3年 山田 心羽
	思いやりから広がる世界	新居浜市立別子中学校	3年 弓山 賀子

最優秀賞

「それはすてきなことだ」

愛南町立一本松中学校 3年 やすおか 保岡 ゆな 優奈



私は、中学三年生です。学習中はもちろんのこと、友達との会話の中でも、これからの進路について考えている自分がいることに、ふと気付きます。高校等説明会で話を聞いたり、様々な高等学校や高等専門学校が開設しているホームページやパンフレットを見たりする機会が増えたことで、進路選択に対する真剣さも増してきました。中学校を卒業して愛媛県内の高校へ進学。高校卒業は、専門性を身に付けるために大学を目指すのか、就職するのか、新たな選択を迫られることとなります。ただここで私が強く思うのは、よりよい選択をするときに必ず、物理的な壁が立ちはだかるということです。私の場合の物理的な壁とは、通学距離です。私の住む地域には高校は一校しかありません。地域外の高校を選択すると、生活が一変するのは周知のことです。さらに、大学進学や就職、結婚などを考えると、物理的な壁に加えて、精神的な壁が複雑にからみ合ってくるのが予想されます。しかし、私の考えの中心にある家族との生活を取り除けば、もっと楽になるのですが……。

そんなとき、私の悩みを解決し、心が楽になる出来事がありました。それは、スクールカウンセラーの先生との出会いです。私は、幼い頃から、相談は家族にしていました。だから、先生の「悩みなどの相談をできる人はいますか。」という問いに、迷わず、「はい、います。家族です。」と答えました。すると、先生は、「それはすてきなことだ。」と喜んでくださいました。私の予想を越えた先生の反応によって、それ以降の先生との会話は弾みました。緊張がほぐれて、思っていることをすべて吐き出すことができました。先生は、「大学に進学したり、就職したり、結婚したりして県外に住むことになる、なかなか地元に戻れなくなるから、今のうちに、手伝いや話をたくさんして、家族との時間を大切にするといいね。」と、優しく穏やかな声でおっしゃいました。私は、一歩踏み出す勇気をいただいたような気がしました。私は、先生と話をしながら、自分を振り返りました。「私にはすてきな家族がいる。母は、どんなときも私の話を聞き、気持ちに寄り添ってくれる。父は、私のことを自分のことのように考え、間違いは叱って正してくれる。妹は、一緒にいるだけで楽しく癒やしの存在。家族一人一人が私を大切に思い、支えてくれている。」と。自分を振り返ることによって、「家族」の存在は、当たり前のことのようだが、本当は、特別なことなのかもしれないという思いがしました。そして、そんな特別な存在がいることは幸せなのだと思います。

私は、スクールカウンセラーの先生と話してから、自分から進んで手伝いをするようになりました。母と一緒に料理を作る機会も増え、以前よりも家族との時間を大切にしています。私は、中学校卒業後、自宅から通える愛媛県内の高校に進学することに決めました。物理的な壁や精神的な壁を逃げ道にしないで、自分が今一番大切にしたいことは何かを考え、気持ちが動いた方を選びました。まだまだ決めなければならないことはありますが、そのときも自分の気持ちにしっかり向き合うつもりです。そして、これから先、自分の生活の中心がどこになっても、家族との時間を大切にしていきたいと思います。

中学三年生の私には、家族との時間の他にも、今大切にすべきことがあります。今という時間を共有している級友と語り合うことや遊ぶこと、学び合うことなどです。生徒会長としては、学校行事や日々の活動に全力を注ぎ、一年前に掲げた公約を果たすことで、感謝を伝えることです。これらはすべて、今の私ができることであり、大切にしなければならぬことだと、あの日、笑顔の先生に教えていただきました。

優秀賞

気づきはわずかな異変から

新居浜市立別子中学校 2年 すずき 鈴木 ななこ 菜々子

「あのまま学校を続けたかったなあ。」

祖母の言ったその一言は、いつまでも私の脳裏から離れることはありませんでした。この祖母の言葉をきっかけに、私の将来に一筋の光が見えてきました。

皆さんは、ヤングケアラーという存在について考えたことはありますか。その言葉を知っていても、この問題を身近に感じ、解決策を考えられている人は、きっとわずかだと思えます。私も一冊の本に出合うまでは、ヤングケアラーの存在すら知らずにいた一人です。

ヤングケアラー。それは、本来大人が担うとされている家事や家族の世話などを、日常的に行っている子どものことです。国の調査では、小学六年生の十五人に一人が、ヤングケアラーだという報告がありますが、その数は氷山の一角だとも言われています。皆さん、想像してみてください。あなたの身近な人にもヤングケアラーがいるかもしれません。私は、その本を読んだ後に、母にこう話しました。

「世の中には、家族の悩みを誰にも打ち明けられずに、孤立しているヤングケアラーの子ども達がたくさんいるみたいだよ。」

すると、母は私に、

「おばあちゃんが、ヤングケアラーだったのよ。」

と言ったのです。母の言葉に、私は一瞬自分の耳を疑いました。そして、私は初めて祖母に、生い立ちについて話を聞きました。

祖母が中学生だった頃、祖母の母は、病気により介護を必要としていました。兄や姉達は、既に進学や就職で家を離れ、介護の担い手は祖母一人だけ。そのため、介護をしながら、食事の準備や洗濯をこなし、寝る間を惜しんで勉強をしていたそうです。さらに状況は悪化し、高校生の頃には祖母の父も病に倒れ、祖母は早退や欠席、体調不良を繰り返すようになりました。そんな祖母の異変に担任の先生が気づき、昼間働きながら通学できる定時制高校を勧め、祖母はなんとか高校を卒業することができたのだと、涙を浮かべながら語ってくれました。

ヤングケアラーと呼ばれる多くの子どもたちは、周りの人に自分の家の状況を話すことができていないといいます。祖母も、誰かに話したところで状況は変わらない、と誰にも相談せず、一人で抱え込んでいたそうです。そのため、友達と疎遠になったり、勉強についていけなかったりすることで、さらに孤立が進みます。そう考えると、ヤングケアラーの子どもが、自分で解決策を見つけることは困難です。しかし、祖母の近くには、わずかな異変に気づく人がいたことで、定時制高校という別の選択肢を見つけられました。ただ、必ずしも、わずかな異変に気づく人が周りには限りません。いたとしても、現在の社会では、ヤングケアラーを本当に救うことは難しいのではないかと考えます。

私は今、ヤングケアラーを救うために、必要なことが二つあると思っています。一つは、子どものわずかな異変に気づき、この子に手を差し伸べられる人がいること。そして、もう一つは、子どもが介護や家事の負担を負わずに生活できる法律や条例を整えていくことだと思えます。

私の将来の夢は、法律家です。福祉と医療そして、教育に寄り添える社会を実現し、子どもが子どもらしくいられる「誰一人取り残さない社会」をつくっていくことで、私はヤングケアラーの子ども達を救いたいです。

皆さん、考えてみてください。あなたの周りに親に代わって幼い兄弟の世話をしていたり、家事をしていたりする子ども達はいませんか。隣の人のわずかな異変に気づき、寄り添うことができれば、それがヤングケアラーを救うきっかけとなるかもしれません。

優秀賞

命から考える「普通」

新居浜市立北中学校 3年 たかはし高橋 みゆ美優

朝起きて、学校に行く日々。家に帰ると、いつも作ってくれている夜ご飯。洗われた食器。綺麗に畳まれた自分の服。仕事をしながらも、当たり前家事をこなしてくれている、母や父の存在。家族がそばにいてくれることが当たり前。日常に馴染みすぎている、私にとっては「普通」のこと。でも、「普通」って、何なのでしょう。

去年、道徳の授業で、「たったひとつのたからもの」という題材を学習しました。秋雪くんという一人の男子のお話です。秋雪くんは、生まれて間もなく、ダウン症と重い心臓の病気であると診断されました。そして、医師から告げられた言葉は、一歳の誕生日を迎えることは難しいというもの。秋雪くんのお母さんである浩美さんは、この現実を受け入れることに、時間がかかったそうです。しかし、そんな浩美さんの心を支えたのは、小さいながらも一日一日を精一杯生きている、秋雪くんの存在でした。「ご飯を食べる、トイレに行く、怒る、泣く、笑う、眠る、その、砂の数ほど、星の数ほどの幸せのかけらを、秋雪がいつも握っていた。」という浩美さんの言葉を聞いて、学校に来て、友達と過ごしている、この何気ない日常の大切さに、私は改めて気付きました。

この授業を受けた後、母が風邪をひき、寝込んでしまいました。滅多に風邪をひかない私の母。家族全員が心配をしていました。毎日母がしてくれていた、炊事、洗濯、掃除。家族全員で分担しても、簡単にこなすことはできません。当たり前の存在だからこそ、これまで、母の存在の大切さに気付くことができていませんでした。これまでも、体調が悪い日はあったと思います。それでも、休まず働いてくれた母。私が「普通」と思っていたことは、「普通」ではありませんでした。生活を支えてくれている父。家族を支えてくれる母。勉強で分からないことがあったら、何でも教えてくれるお兄ちゃん。かけがえのない私の家族の存在。私にとって「普通」とは、本当にかげがえのない大切なたからものだったので。

それから、もう一度「たったひとつのたからもの」を読み返しました。学校の先生から本も貸していただき、何度も何度も読みました。浩美さんは、「人の幸せは、命の長さではないのです。」という言葉や、秋雪くんの精一杯生きる姿に、ずっと支えられてきたそうです。秋雪くんは、沢山のの人に愛され、沢山のことを経験して、素敵な人生を送ってきました。持病や障害をもって生まれることは辛いことかもしれない。しかし、秋雪くんが楽しかったと思えたのであれば、人生は幸せだったといえると私は思います。

「普通」とは一体何なのか。人によって、個性や好きなものや価値観が違うように、「普通」の基準も違うのではないのでしょうか。「普通」という価値観をもう一度考え直してみませんか。私の人生はありふれたものかもしれないけれど、私の「普通」は、かけがえのない大切なたからものでした。そして、目の前にいる相手ともう一度向き合う。何ができて何ができないのかをしっかりと理解する。秋雪くんの懸命に生きる姿から、そう学びました。秋雪くんと出会わなければ、気がつかなかったことが多くありました。秋雪くん、本当にありがとう。これからは、「普通」という言葉に囚われず、自分や家族、周りの人の命を大切に、精一杯今を生きていきます。

令和4年度青少年健全育成推進大会

当協議会では、青少年健全育成活動の地域への一層の普及、定着を図るため、11月の「子ども・若者育成支援強調月間」の一環として、各市町民会議等との共催により青少年健全育成推進大会を開催しています。

今年度は、11月16日(水)に大洲市青少年健全育成協議会との共催により、国立大洲青少年交流の家 大ホールにて開催し、多くの青少年育成関係者の参加のもと、青少年の健全育成に関するご講演のほか、長年にわたり青少年育成活動、青少年団体活動に尽力された個人、団体の皆様のご功績を称えるため、当協議会の野間会長から感謝状を贈呈しました。

大会の様状と受賞された方々のご功績を紹介いたします。

【大会の様子】



【主催者あいさつ】

愛媛県青少年育成協議会
会長 野間 逸元 (左上)
大洲市青少年健全育成協議会
会長 藤岡 朋 (右下)



【青少年活動功労者等に対する会長感謝状】

・青少年育成活動の部(団体)

①リトルスワン (式典欠席)

・青少年育成活動の部(個人)

②河野 洋子(新居浜市少年補導委員協議会 船木支部 女子部長)

③山内 光男(新居浜市少年補導委員協議会 角野支部 事務局長)

④山中 清治(新居浜市少年補導委員協議会 角野支部)

⑤佐伯 和洋(久万剣道会 会長、上浮穴剣道会 会長) (式典欠席)

⑥小林 仁 (オレンジスポーツ少年団 監督) (式典欠席)

⑦重松 邦和(砥部光女子 MBC スポーツ少年団 監督) (式典欠席)

・善行青少年の部

⑧池田 尚弥(古三津子ども虎舞教室 リーダー)

⑨中島 空 (双海ジュニアリーダー会 副会長)



【講演】

演 題
講 師

家庭、学校、地域社会の連携強化について
一般社団法人愛媛県ネットワーク協会
カウンセリングルーム ハピネス

代表理事 幸田 裕司 氏



幸田 裕司 氏



たくさんの方に参加いただきました！

【青少年育成活動功労者等に対する会長感謝状受賞者】

○青少年育成活動の部(団体) 1団体

団体名(所在地)	代表者	功績の概要
リトルスワン (今治市)	門田 由香	クラシックバレエを通じて、正しい姿勢、柔軟性、表現力を養い、体幹を鍛えることで、心にも体にも美しさがつくことを目的として活動している。 ○地域の清掃活動に参加 ○地区の文化祭に参加 ○敬老会では今治国際ホテルにてバレエを披露

○青少年育成活動の部(個人) 6名

団体名(所在地)	代表者	功績の概要
新居浜市 少年補導委員協議会 船木支部 (新居浜市)	河野 洋子	毎月1回、支部員全員参加による支部定例会を開催し、青少年に関する情報交換や意見交換を行い、活動方針等を適宜立て、状況に応じた活動をしている。 毎月1回以上、支部の女性班の活動として 14 時から 16 時まで校区の昼間街頭補導を行い、非行・被害行為の発見と防止に努めている。 船木支部の女子部長として支部長を補佐し、支部全体の活動が円滑に進むようにサポートしており、重要な役割を担っている。
新居浜市 少年補導委員協議会 角野支部 (新居浜市)	山内 光男	毎月1回、支部員全員参加による支部定例会を開催し、青少年に関する情報交換や意見交換を行い、活動方針等を適宜立て、状況に応じた活動をしている。 毎月1回以上、支部の男性班の活動として 19 時から 21 時まで校区の夜間街頭補導を行い、非行・被害行為の発見と防止に努めている。 角野支部の事務局長として支部長を補佐し、支部全体の活動が円滑に進むようにサポートしており、重要な役割を担っている。
新居浜市 少年補導委員協議会 角野支部 (新居浜市)	山中 清治	毎月1回、支部員全員参加による支部定例会に積極的に参加し、青少年に関する情報交換や意見交換を行い、補導活動に活かしている。 毎月1回以上、支部の男性班の活動として 19 時から 21 時まで校区の夜間街頭補導を行い、非行・被害行為の発見と防止に努めている。 補導委員歴、足掛け 25 年という長きにわたって活動し、地域の補導委員にも信頼度も高く、経験を活かし新居浜市補導委員協議会活動の一層の発展、充実に努めた。

<p>久万剣道会 会長 上浮穴剣道会 会長</p>	<p>佐伯 和洋</p>	<p>平成5年から久万剣道会(スポーツ少年団)の指導者として、30年近く剣道を通じて青少年(小学生)の健全育成に貢献しており、特にスポーツ少年団の監督を務めていた10年間は、年間約280日活動していた。また、剣道の技術はもとより、忍耐力・協調性・礼儀などの精神面での指導にも力を入れている。平成17年から久万剣道会の会長、令和2年から上浮穴剣道会の会長・愛媛県剣道連盟の理事を務めている。</p> <p>愛媛県青少年育成指導員及び久万高原町青少年補導委員として、17年以上(市町合併前の委員年数は不明)、少年の非行防止と健全育成のため地域の子どもたちの見守り活動に積極的に参加している。</p> <p>保護司として16年間、地域の犯罪・非行の予防を図る活動を行い、明るい社会づくりに貢献した。</p>
<p>オレンジスポーツ 少年団 監督</p>	<p>小林 仁</p>	<p>平成5年から29年以上にわたりオレンジスポーツ少年団の監督としてソフトボールを通じた青少年のスポーツの指導に携わっている。</p> <p>砥部町スポーツ少年団ソフトボール大会を運営する中心メンバーの一人でもあり、令和4年1月には小学生女子のソフトボールチームを設立し、女子スポーツの競技力向上にも取り組んでいる。</p> <p>スポーツ教育活動では、技術指導はもとより、特にスポーツの楽しさを感じ、友だちの輪が広がるようにと、青少年の健康な心身の育成に配慮している。</p> <p>また、砥部町ソフトボール連盟の事務局としてその運営を担い、平成28年からは砥部町スポーツ協会の理事に就任し、同協会の運営および砥部町ソフトボール大会の開催に携わり、地域の人々の交流を深める活動を行っている。この町大会については、本年度から中学生の参加を認めるなど大会運営上の改革を行い、より幅広い世代間の交流促進に努めている。</p>
<p>砥部光女子 MBC スポーツ少年団 監督</p>	<p>重松 邦和</p>	<p>昭和63年から34年以上にわたり砥部光女子MBCスポーツ少年団の監督としてミニバスケットボールを通じた青少年のスポーツの指導に携わっている。日々の練習では、保護者と力を合わせて、子どもたちがミニバスケットボールというスポーツを通じて、基礎となる体づくり、基本的な技術を習得しながら競技の楽しさや難しさを学ぶこと、また仲間を大切に、強さ、優しさを身につけることによって精神的にたくましく成長することを目指した指導を行っており、子どもと保護者から厚い信頼を得ている。</p> <p>その他にも、地域の体育委員として地域活動の運営にも携わるなど、大人から子どもまで幅広い世代の交流促進に努め、子どもたちと地域の結びつきにも尽力している。</p>

○善行青少年の部 2名

団体名(住所)	功 績 の 概 要
<p>池田 尚弥 (松山市)</p>	<p>「古三津子ども虎舞教室」は、毎月2回、第2・第4日曜日の19時30分から宮前公民館の大会議室で練習を行っており、幼児から小・中・高校生と幅広い年齢の青少年が集まり活動し、イベント等で虎舞を披露するほか、構成や歴史についても学び虎舞についての理解を深めている。</p> <p>現在、虎前で最年長となり、指導者の補助をしながら、年下の子への指導にあたっている。先輩から教わったことを次へ引き継ぐために後輩の手本となるよう、挨拶や態度等にも気をつけ、後輩と共に成長できるように活動している。</p>
<p>中島 空 (伊予市)</p>	<p>「双海町ジュニアリーダー会」は、「双海町こども教室」に参加していた子どもたちで組織する団体であり、教室の運営補助、プログラムの企画立案、実施などをメインにボランティア活動を実施している。同団体は、上記活動以外にも、地域イベントや高齢者福祉施設のイベントの手伝いなど、積極的に活動の幅を広げ、個々の成長や地域貢献を目的に活動している。</p> <p>○中学時 教室に参加している子供たちに常に笑顔で接し、子供たちの緊張を和らげたり、楽しみやすい雰囲気づくりに努めたりしながら活動した。中学3年時には中学生の代表を務めた。</p> <p>○高校時 リーダーシップを発揮し、同団体の会長を2年間務め、円滑な組織運営に努めるとともに、行事等での子どもたちの安全管理や準備・片付けなどの活動を行うなど、運営側の中心的役割を担った。</p> <p>コロナ禍においても、国道のボランティア清掃を行うなど、積極的に地域貢献を行った。</p> <p>現在は、副会長として会長の補佐や後進の指導をしながら活動を継続しており、地域の青少年育成活動に熱心に取り組んでいる。</p>

【お知らせ】

令和5年度の青少年関係大会は、下記のような内容で開催を予定しておりますので、是非ともご参加いただきますよう、お願いいたします。

○青少年の非行・被害防止県民大会 7月末

○愛媛の未来をひらく少年の主張大会 8月5日(土)

愛媛県生涯学習センターにて開催予定